

“猪名川(藻川)のアユの産卵場づくり”を実施しました ～流域の市民と力を合わせて、猪名川のアユを増やそう！～

～猪名川河川事務所～

藻川漁協、神崎川水質汚濁対策連絡協議会猪名川分科会(事務局:猪名川河川事務所)の主催で、『猪名川(藻川)のアユの産卵場づくり』を、**流域の団体及び一般募集した市民の総勢68名で実施しました。**

今年は2回目の開催となり、市民団体、漁協、NPO等のたくさんの団体の協力により、**昨年度の50人を上回る人数で河床を耕してアユの産卵場をつくりました。**今後、整備した産卵場で多くのアユが生まれることを期待しています。参加者は、地元の尼崎市が多かったですが、伊丹市、川西市、猪名川町からも複数の参加がありました。

開催概要

- 日 時 : 平成30年10月14日(日) 9時30分～12時00分
- 場 所 : 兵庫県尼崎市田能 中園橋付近
- 参加人数 : 68人
- 内 容 : 産卵場づくり、猪名川のアユと環境の話、河川内伐採木を使った工作、アユの試食
- 主 催 : 藻川漁業協同組合、神崎川水質汚濁対策連絡協議会 猪名川分科会
(構成:猪名川漁協、猪名川河川事務所等)
- 協 力 : 流域ネット猪名川、自然と文化の森協会、NPOまいどいんあまがさき、NPOやさしあ

イベントの様子

すがすがしい晴天の中、アユの産卵場作り(耕し)を開始しました。今年は2年目に比べ大勢であったので**40m×30mを予定していたのですが、参加者の皆様が頑張って産卵場を作ってくれたので、30m×30mの追加を行いました。**

作業終了後、猪名川のアユと環境の説明を環境省環境カウンセラーの中西先生に行ってもらいました。そして、この間、子供達は、流域ネット猪名川さんの指導のもとに、河川内伐採木を使った工作をしてもらいました。大人と子供のプログラムを分けることで、集中して行うことができました。

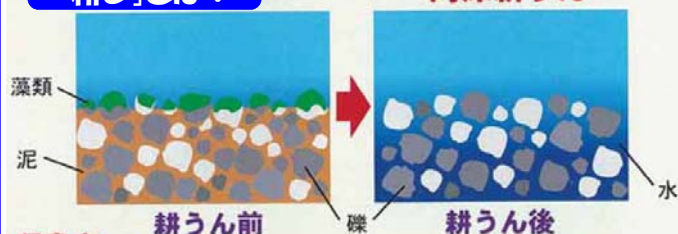
その間に、猪名川漁協が提供するアユも焼けて、試食会を始めました。参加した子供達はアユをととてもおいしそうに食べていました。

なお、参加者募集にあたっては、身障者作業所のNPOまいどいんあまがさきとNPOやさしあの皆さんが、チラシを戸別配布して頂いており、**たくさんの参加者によりイベントを開催することができました。**



「耕し」とは？

河床耕うん



アユの産卵に適した環境として、
・径が約5mm～3cmのきれいな礫が「浮き石状態」
・礫に泥や藻類が付いていない
などがあります。
河床耕うんにより、アユが産卵しやすい河床環境を創出しています。

出典:アユの人工産卵床の作り方(水産庁)

参加者の声

『アユが増えたらいいね』『耕すのはやってみると面白い』
『環境に関心持ってくれる子供が増えるイベントでいい』
『上流のアユはおいしい』

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 工務課
〒563-0027 大阪府池田市上池田2-2-39 TEL 072-751-1111 (代)

